



～絆を深めて Keep Smile～

第161号 令和3年3月22日（月）

プログラミング特集～スクラッチを使って～



5年生の算数科では、プログラミングに挑戦しました。「スクラッチ」というプログラムを使って、正多角形を作図します。お笑いのプロ、佐伯先生が授業を進めています。まずは作図の仕方について、スクラッチを使って確認。正方形の作図に挑戦します。



ふだんからICTに慣れている子ども達。全く問題なく作図することができました。続いて、正三角形に挑戦これも簡単？と思ったら、ここで落とし穴が！
「あれ？三角形にならないよ。」「どうして？」

プログラミングの学習は、このように自分が出したプログラムがうまくいかなかったとき、どのようにすれば解決するか試行錯誤することが大切です。



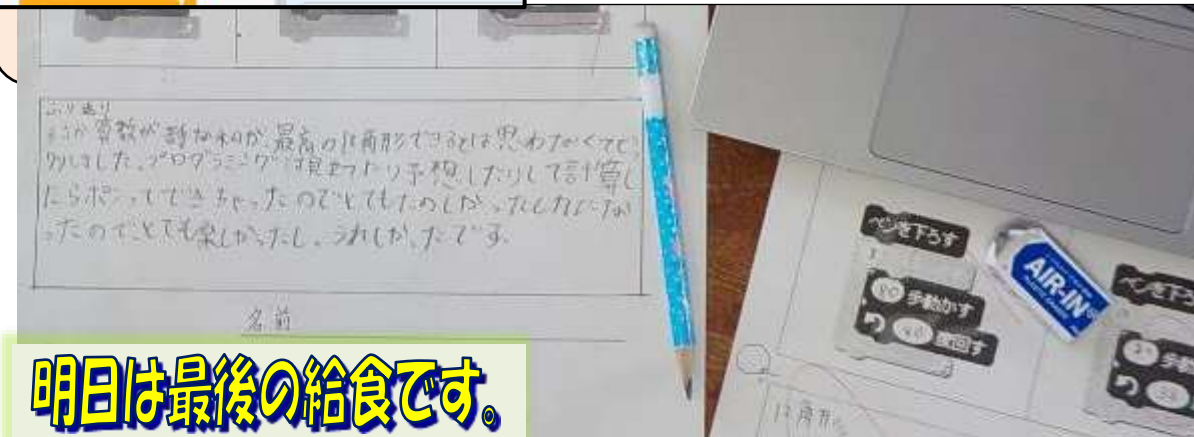


悩んだ挙句、子ども達は発見しました。それは、曲がる角度を 60 度にしていただけです。実際は 120 度になければならなかったのです。(詳しくはお子様にお聞きください。)
「なるほど！そういうことだったのか。」



こうして問題を解決した子ども達。後は、数値を変えて、他の図形にもどんどん挑戦していきました。
子ども達の振り返りには、
「プログラミングは、予想を立てて実際にしてみると、結果が違って面白かったです。」
と書かれていました。

このような考え方をプログラミング的思考と言います。小学校では、このようなプログラミングの基礎となる考え方を養うようにしています。



明日は最後の給食です。

明日は令和 2 年度最後の給食です。また、学年末のため、子どもによっては、多くの荷物を持って帰ります。必ず、手紙や道具袋などの確認をお願いします。

特に、色鉛筆や絵具、のりなどは、早めに補充をして新学期に備えてください。